

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム中野方めぐみ

目標達成計画

作成日: 令和 6年 10月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	24 (18)	年2回の火災時避難訓練は実施出来ているものの、取るべき行動の理解、備蓄品が不十分である。	施設内の全職員が、地震・火災・風水害時に取るべき行動を理解し、役割の周知と不足の備蓄品をそろえる。	・月に1回のミーティング時には必ず全職員で災害時の行動を復習する。 ・停電時に備え、ポータブル発電機を用意する。	6ヶ月
2	22 (17)	法人として看取り介護を行う方針は提示しているものの、体制づくり、職員の理解が至っていない。	看取り介護についての知識・理解を深める。	・担当の協力医と看取り介護に向けた協力体制をつくるよう話し合う。 ・協力体制を構築する。	6ヶ月
3	9 (7)	施設側から家族様への報告は実施出来ているが、家族様の意見があまり聞けていない。	家族様との対話の機会では現状や以前との変化を伝え、施設・家族様で考えを共有する。	・面会時や電話連絡時には、必ず家族様の意見を聞き、事業所全体で展開する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。